

平成26年7月 全国百貨店売上高概況

平成26年8月19日

I. 概況

1. 売上高総額	5,448億円余
2. 前年同月比	-2.5% (店舗数調整後/4か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	84社 241店 (平成26年6月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,178,519㎡ (前年同月比:-0.9%)
5. 総従業員数	79,749人 (前年同月比:-2.9%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	12-2月 2.4%、1-3月 11.0%、2-4月 6.5%、 3-5月 4.1%、4-6月 -6.9%、5-7月 -3.7%

[参考] 平成25年7月の売上高増減率は-2.5% (店舗数調整後)

【7月売上の特徴】

天候不順の影響などから4か月連続のマイナスとなったが、減少幅は前月(-4.6%)から2.1ポイント改善しており、消費税率引上げによる駆け込み需要反動の影響は、月を追う毎に和らいできている。また、前回引上げがあった'97年7月(-3.5%)との比較で1.0ポイント上回っていることもあり、基調としては回復傾向が続いている。

本年7月は、夏のクリアランスをはじめ各種販促施策を積極展開したものの、前年に比べ梅雨明けが遅れたことや月初の台風上陸など不安定な天候により、入店客数に影響を受けたことで、中旬までは主力の夏物衣料を中心に低調な業績推移であった。下旬からは気温上昇で盛夏商材が活発に動いたほか、夏期賞与増額による客単価の上昇もあって増勢を強めたが、前半の不振を取り戻すまでには至らず、最終的に前年実績を下回る結果となった。

地区別では、増床や改装前のセール効果などから大阪(0.7%)が税率引上げ後初めてプラスとなったほか、多くの地区で減少幅が縮小した。また、大都市(10都市:-1.4%)と地方(10都市以外:-4.9%)とでは、商品集積や集客力の差から回復ペースに若干開きが出ている。

商品別には、主要5品目全てで前年割れとなり、ギフト需要の前倒しや入店客数減の影響を大きく受けた食料品(-2.5%)が減少幅を広げた半面、その他の品目はいずれも改善傾向を示している。特に、UV需要で伸長した化粧品(0.3%)が税率引上げ後初めてプラスとなった他、前月まで二桁減が続いた美術・宝飾・貴金属(-8.0%)が復調の兆しを見せたことで、二桁減の品目はなくなった。

訪日外国人売上高については、中華圏(中国、台湾等)やアセアン(タイ、シンガポール等)からの来店を中心に、売上高(+39.8%)・購買客数(+47.1%)共に大幅増となり、単月では過去2番目(7月としては過去最高)の売上高(約52億円)を記録するなど、特に大都市の商況の牽引役となっている。

【要因】

- (1) 天候 : 気象庁発表「7月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)
 - ◇ 上旬に台風8号が上陸し全国各所で局地的な大雨被害が発生した。中旬以降は太平洋高気圧の勢力が次第に強まり、東・西日本太平洋側では晴れる日が多かった。月の平均気温は北・東日本で高く、他は平年並みだった。
- (2) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 9日 (" ±0日)
- (4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数137店舗)
 - ①増加した: 25店、②変化なし: 44店、③減少した: 68店
- (5) 7月歳時記(夏祭り/七夕・花火大会等、新暦お盆、夏休み)の売上(同上/有効回答数110店舗)
 - ①増加した: 15店、②変化なし: 45店、③減少した: 50店

全国百貨店 売上高速報 2014年07月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全国	544,870,959	100.0	-2.5 (-2.7)
10都市	371,131,860	68.1	-1.4
札幌	12,919,584	2.4	-2.5
仙台	8,111,654	1.5	-0.3
東京	137,460,788	25.2	-1.4
横浜	31,471,710	5.8	-2.6
名古屋	34,941,718	6.4	-0.6
京都	20,990,525	3.9	-3.3
大阪	80,334,539	14.7	0.7
神戸	14,087,783	2.6	-4.3
広島	12,778,514	2.3	-4.4
福岡	18,035,045	3.3	-3.0
10都市以外の地区	173,739,099	31.9	-4.9 (-5.2)
北海道	2,613,881	0.5	-5.0
東北	8,224,113	1.5	-3.5
関東	81,735,462	15.0	-5.2 (-5.0)
中部	13,462,311	2.5	-4.8
近畿	16,964,069	3.1	-5.0
中国	12,289,188	2.3	-3.3
四国	9,664,169	1.8	-1.0 (-8.7)
九州	28,785,906	5.3	-6.3

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	544,870,959	100.0	-2.5 (-2.7)
紳士服・洋品	33,538,925	6.2	-0.0 (-0.1)
婦人服・洋品	114,809,466	21.1	-4.5 (-4.6)
子供服・洋品	10,821,051	2.0	-0.1 (-0.2)
その他衣料品	14,020,143	2.6	-4.8 (-5.0)
衣 料 品	173,189,585	31.8	-3.4 (-3.6)
身のまわり品	67,285,639	12.3	-0.7 (-0.8)
化粧品	27,693,692	5.1	0.3 (0.1)
美術・宝飾・貴金属	26,537,514	4.9	-8.0 (-8.3)
その他雑貨	19,225,040	3.5	-0.6 (-0.8)
雑 貨	73,456,246	13.5	-3.1 (-3.3)
家具	7,027,680	1.3	-2.2 (-2.4)
家電	1,534,589	0.3	3.1 (3.0)
その他家庭用品	16,934,409	3.1	-3.1 (-3.1)
家 庭 用 品	25,496,678	4.7	-2.5 (-2.6)
生 鮮 食 品	34,783,620	6.4	-2.5 (-2.6)
菓 子	41,568,637	7.6	-1.2 (-1.3)
惣 菜	32,199,277	5.9	-1.9 (-1.8)
その他食料品	64,915,488	11.9	-3.6 (-3.6)
食 料 品	173,467,022	31.8	-2.5 (-2.5)
食 堂 喫 茶	16,010,383	2.9	-2.8 (-3.1)
サ ー ビ ス	5,232,204	1.0	-3.6 (-3.6)
そ の 他	10,733,202	2.0	5.2 (5.1)
商 品 券	23,927,914	4.4	-6.4 (-6.4)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -1.4% (4か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -4.9% (店舗数調整後/4か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-1.4	-0.9	4か月連続マイナス
札幌	-2.5	-0.1	4か月連続マイナス
仙台	-0.3	0.0	4か月連続マイナス
東京	-1.4	-0.3	4か月連続マイナス
横浜	-2.6	-0.1	4か月連続マイナス
名古屋	-0.6	0.0	4か月連続マイナス
京都	-3.3	-0.1	4か月連続マイナス
大阪	0.7	0.1	4か月ぶりプラス
神戸	-4.3	-0.1	4か月連続マイナス
広島	-4.4	-0.1	4か月連続マイナス
福岡	-3.0	-0.1	4か月連続マイナス
10都市以外の地区	-4.9	-1.6	4か月連続マイナス
北海道	-5.0	0.0	4か月連続マイナス*
東北	-3.5	-0.1	4か月連続マイナス*
関東	-5.2	-0.8	4か月連続マイナス
中部	-4.8	-0.1	4か月連続マイナス
近畿	-5.0	-0.2	4か月連続マイナス
中国	-3.3	-0.1	4か月連続マイナス*
四国	-1.0	0.0	4か月連続マイナス
九州	-6.3	-0.3	4か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、4か月連続で全品目がマイナスとなった。食料品が先月よりマイナス幅を広げたが、その他の4品目は改善を見せた。化粧品と家電が4か月ぶりにプラスに転じ、紳士服・洋品も-0.0%と前年並みとなった。また、先月唯一二桁マイナスだった美術・宝飾・貴金属は一桁マイナスまで戻したが、入店客数の減少から食料品の全品目が先月の伸びを下回った。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-2.5	-	4か月連続マイナス
紳士服・洋品	-0.0	0.0	4か月連続マイナス
婦人服・洋品	-4.5	-1.0	4か月連続マイナス
子供服・洋品	-0.1	0.0	4か月連続マイナス
その他衣料品	-4.8	-0.1	4か月連続マイナス
衣料品	-3.4	-1.1	4か月連続マイナス
身のまわり品	-0.7	-0.1	4か月連続マイナス
化粧品	0.3	0.0	4か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	-8.0	-0.4	4か月連続マイナス*
その他雑貨	-0.6	0.0	4か月連続マイナス*
雑貨	-3.1	-0.4	4か月連続マイナス
家具	-2.2	0.0	4か月連続マイナス
家電	3.1	0.0	4か月ぶりプラス
その他家庭用品	-3.1	-0.1	4か月連続マイナス
家庭用品	-2.5	-0.1	4か月連続マイナス
生鮮食品	-2.5	-0.2	4か月連続マイナス*
菓子	-1.2	-0.1	2か月連続マイナス*
惣菜	-1.9	-0.1	4か月連続マイナス*
その他食料品	-3.6	-0.4	4か月連続マイナス*
食料品	-2.5	-0.8	4か月連続マイナス
食堂喫茶	-2.8	-0.1	4か月連続マイナス
サービス	-3.6	0.0	2か月連続マイナス
その他	5.2	0.1	2か月連続プラス
商品券	-6.4	-0.3	41か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>